



優秀賞



道路分野

実践力あるインフラメンテナンス技術者を育てる 地元インフラを地元で守り次世代へと継承する建設技術者育成活動

取組概要

舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター（略称 i M e c）が、講習会の開催やeラーニングによる実務者の学修環境を整備し、行政機関や民間企業等の建設技術者を幅広く受け入れ、地域のインフラメンテナンスを支える中核的施設として活動している取組。

受賞理由

eラーニングによる学習をベースとして、コンクリート橋等の主要な部材の劣化状況に関する実物を用い、少人数でアクティブ・ラーニングにより実践的に技術力を習得できる技術者育成プログラムを開発して多くの人材を輩出している取組について、地域におけるインフラメンテナンス技術者を継続的に育成しており、全国的な技術者不足の解消に寄与する取組として広く知らしめるものとして評価された。

取組のポイント

劣化・損傷や補修・補強工法等について実物に見て触れて学修することで実践的な技術力を習得でき、橋梁点検に関する技術資格認定制度を創設してこれまでに計63人の有資格者を輩出している。

e+iMec講習会 【基礎編(橋梁点検)】カリキュラム

e-learning(事前学修)	iMec講習会【基礎編(橋梁点検)】				
講座名	期	時間	(分)	講座名	内容
橋梁工学	-	10:30-11:00	(30)	講習会ガイダンス	スケジュール、受講者交流、事前学修のチェックテスト
コンクリート構造物の損傷	1	11:10-12:00	(50)	橋梁工学	橋梁マネジメント(概説)、演習問題
鋼構造物の損傷	2	12:45-14:15	(90)	コンクリート構造物の損傷と対策	損傷探索実習、実物見学・解説
構造物の補修・補強	3	14:25-15:55	(90)	鋼構造物の損傷と対策	損傷探索実習、上部工・下部工・支保・補修・付属物等の実物見学・解説
共通の損傷	4	15:55-17:15	(80)	維持管理計画	維持管理計画の立案演習
橋の点検要領	5	9:00-9:30	(30)	現場実習ガイダンス	橋の点検要領、実習橋梁踏元
コンクリート橋の点検	6	10:00-10:50	(50)	コンクリート橋の点検	現場実習、定期点検の着眼点
鋼橋の点検	7	11:00-11:50	(50)	現場実習	定期点検の着眼点
構造物の詳細調査	8	13:00-14:10	(70)	詳細調査手法	ひび割れ幅、剥離剥落、空洞、中性化深さ、塩分量、Co強度、鉄筋探索等
(e-learning講座単位)	9	14:20-14:50	(30)	まとめ	質疑応答、アンケート
(原学)	10	15:00-15:50	(50)	学修到達確認試験	問題数30問、回答時間45分
(体験型学修)	-	15:50-16:00	(10)	終了式	

技術資格認定状況



受賞者について



受賞者

舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター
玉田 和也/嶋田 知子/加登 朋恵/河岸 明
独立行政法人 国立高等専門学校機構
研究・産学連携推進室
田村 隆弘
舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科
加登 文学/毛利 聡

コメント

インフラメンテナンス大賞の受賞は大変光栄であり、iMecの活動を支援して下さる皆様方に心より感謝申し上げます。今後も地域固有のニーズに応えるインフラメンテナンス技術者育成に努めてまいります。

団体概要

社会基盤メンテナンス教育センターは、インフラ維持管理に関する実践的な教育システムを構築するため、平成26年1月23日に舞鶴高専内に開設されました。地域のインフラは地元で守るをスローガンに活動しています。

問い合わせ先

舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科
教授 玉田 和也
0773 - 62 - 8983 / tamada@maizuru-ct.ac.jp
舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター
特命助教 嶋田 知子
0773 - 62 - 8877 / tshimada@maizuru-ct.ac.jp